

春は予防の季節だよ!

ようやく日差しも暖くなり、待ちに待った春の季節がやって来ました。お散歩に出るのも楽しくなるし、ワンちゃんと一緒に遠出や旅行に… そんなウキウキした気分になりますね。でも、ちょっと待って!楽しいお出掛けをする前に、健康チェックもお忘れなく!

【狂犬病の予防注射なんてもう要らない!?!】

ワンちゃんにとっては、春は病気の予防を始める季節です。年に一度、ご自宅に市役所からハガキが届いていますか? そう、狂犬病の予防注射のご案内です。(今年からは、封書でのお届けになりました)

「ウチの子噛まないし、お外にも出ないの。だから注射なんて要らないわ」なんてことを言われる方がありますが、狂犬病の予防接種は、法律で定められた飼い主さんの義務なのです。

狂犬病は、日本では絶滅した病気と思われていますが、アジアを始めアメリカ、ヨーロッパなど広い地域で今も発生しています。2年前、海外旅行中に犬に噛まれ、日本に帰国してから狂犬病を発症した2名の方が亡くなられた事例については、新聞やテレビの報道で記憶に新しいことと思います。

狂犬病は、犬だけでなくすべての哺乳類に感染する可能性があります。狂犬病ウイルスを保有する動物に噛まれることによって感染してしまう人と動物の共通感染症で、いったん発病すると現在の医学では治療法がなく、致死率100%の恐ろしい病気です。

自分の犬を狂犬病から守るためにも、狂犬病を蔓延させないためにも、一人一人の飼い主さんの自覚と協力が欠かせません。

【犬の登録をして鑑札をもらおう!】

初めて狂犬病の予防接種を受けた時、各市町村ではその犬の登録を行います。その登録に基づいて、毎年春には予防接種のお知らせを行っており、どこにどんな犬が飼われているかの把握をしています。

犬の首輪に登録番号の打刻されてある鑑札(初年度の登録時にのみ交付)や狂犬病予防接種済票(毎年の接種時に交付)をつけていると、飼い犬が迷子になって保護された時には、その犬がどこの誰の犬かが分かりますので、早い時点でご自宅に連絡することが可能になるのです。

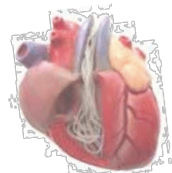
犬を飼い始めたばかりの方や、今までに一度も予防接種を受けたことがない方は、一度かかりつけの獣医さんに相談するか、市役所環境課の担当窓口(38-2050)、また、集合注射(市内8ヶ所の公園で開催)のもよりの会場にお越しの上ご相談下さい。

日程	実施場所	実施時間
4月7日(月)	山手夢保育園前(旧山手幼稚園) 三条公園	13:15~14:15 14:45~15:30
4月8日(火)	呉川公園 東芦屋公園	13:15~14:15 14:45~15:30
4月9日(水)	岩園保育所前 津知公園	13:15~14:15 14:45~15:30
4月10日(木)	中央公園 南芦屋浜総合公園駐車場	13:15~14:15 14:45~15:30

【蚊が媒介するフィラリア症】

犬フィラリア症の予防(毎月1回の投薬)も、5月~6月頃には始めたいものです。犬フィラリア症の感染経路は下記のとおりです。

- ①フィラリアに感染した犬を蚊が刺す
 - ②蚊が吸血する際に、フィラリアの子虫も一緒に吸血
 - ③蚊にフィラリアの子虫が寄生
 - ④フィラリアの寄生した蚊が、別の犬を刺す(吸血)
 - ⑤吸血の際に、犬の体に子虫が感染
 - ⑥子虫は犬の体内を移動する(約3ヶ月)
 - ⑦感染後約3ヶ月後に肺動脈や心臓で成虫(約20cm)になる
- ↓
- 心不全や肺・肝臓・腎臓などの障害を引き起こす



重症になると、苦しそうなセキ、腹水、貧血、失神などの症状が出るようになり、やがて死亡してしまう…そんな恐ろしい病気です。

これは、蚊の発生状況に合わせて12月頃まで予防します。毎年予防前には、血液検査を行って感染の有無を調べた上で、体重に見合った投薬が必要となりますので、かかりつけの動物病院でご相談下さい。

【ノミ・ダニ対策も忘れずに】

気温の上昇に伴って、ダニやノミの対策も必要になってきます。ノミはアレルギー性皮膚炎を引き起こすだけでなく、寄生虫の運び屋でもあります。マダニはバベシア症にかかる原因にもなり、発見が遅れると命にかかわるような場合もあります。



小さいダニも
吸血後はこんなに膨張



スポット薬を首の後ろに滴下するだけで簡単に予防出来ますので、毎月の対策をお忘れなく!野山や河川敷に連れて行く時には、特に気をつけて下さい。

このような予防接種や予防薬投与は、あなたの大事な家族であるワンちゃんを健康で長生きさせるための飼い主としての義務であり愛情の証でもあります。

「うちの子は大丈夫!」なんて過信は絶対禁物!!

「うちの子は予防してるから大丈夫!」にしてあげて下さいね。